

### 身体障害者へ 交通安全教室

磐田

県身体障害者福祉会は20日、県内に住む身体障害者を対象に、磐田市上新屋の「ひと・ほんの庭」にこつと」で交通安全教室を開いた。参加した23人が車を運転する際の注意点などを学んだ。

日本自動車連盟（JAF）静岡支部職員の前原康之さんが講師を務めた。参加者は、見通しが悪いカーブや通学路を走る車のドライブレコーダーの映像を見て危険箇所を考えた。原さんは「運転するときには心に余裕を持ち、危険を予測することが重要」と話した。

移動し、衝突した際の衝撃を再現できるトラックでシートベルトの効果を実験した。

座学の後、駐車場に



参加者に運転時の注意点を説明する原さん  
＝磐田市上新屋の「ひと・ほんの庭」